

- 問1 現代社会において、多くの企業がコストをかけてまで環境保全や地域への貢献といった活動を重視する理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 環境活動に取り組みない企業は、市場での独占的な地位を国から剥奪される仕組みがあるため。 | 2. 社会貢献活動を行っている間は、従業員に対して賃金を支払う必要がないと定められているため。 | 3. 法律によって、企業が得た利益の全額を地域社会に寄付することが義務付けられているため。 | 4. 社会的責任を果たすことで、消費者や投資家からの信頼を得て、企業の価値や持続性を高めるため。 |
|--|---|---|--|
- 問2 16世紀にドイツのルターらが始めた宗教改革において、彼らがカトリック教会の権威に対抗するために最も重視したものは何か、次の中から選んでください。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------|-------------------|---------------------|-------------------|
| 1. イスラム教の教典であるコーラン | 2. 十字軍の遠征による聖地の奪還 | 3. ローマ教皇が下す命令や教会の伝統 | 4. 信仰のよりどころとしての聖書 |
|--------------------|-------------------|---------------------|-------------------|
- 問3 温州みかんの生産量が全国1位の和歌山県や、それに続く愛媛県、静岡県といった地域に共通する、みかんの栽培に適した自然条件や地形の工夫として最も適切なものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|
| 1. 冷涼な気候を好み、昼夜の温度差が激しい標高の高い火山灰土の高原を利用している | 2. 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している | 3. 稲作が困難なほど降水量が少ないため、灌漑設備を整えた広大な平野を利用している | 4. 冬の寒さが厳しく、病害虫の発生を抑えられる降雪量の多い地域を利用している |
|---|-------------------------------------|---|---|
- 問4 サウジアラビアをはじめとする西アジアの産油国では、近年、石油に依存した経済からの脱却を目指し、観光業や商業の育成に力を入れています。このような「経済の多角化」を進める背景として、石油資源が持つ経済的な課題を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 石油は天然ガスと比較して可採年数が100年以上と非常に長い、精製にかかるコストが年々上昇しており、利益が減少しているという課題。 | 2. 石油の国際価格は長期間にわたり安定しているが、先進国での需要が急速に減少しているため、輸出量を維持できなくなっているという課題。 | 3. 石油は再生可能エネルギーの一種として分類されるようになったが、周辺諸国との輸出競争が激化し、販売価格が下落し続けているという課題。 | 4. 石油は埋蔵量に限りがあるため将来的な枯渇が懸念されるだけでなく、国際的な価格の変動が大きい、安定した国家収入を得ることが難しいという課題。 |
|---|---|--|--|
- 問5 東南アジアの諸国では、かつての植民地支配の影響などもあり、特定の農作物を輸出して外貨を得る仕組みが残っています。カカオのように、自分たちが食べるためではなく、売却することを目的として栽培される農作物の分類名と、その特徴の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 食料作物と呼ばれ、主食となる稲などを家族で消費するために、小規模な土地で栽培している。 | 2. 商品作物と呼ばれ、熱帯の気候に適した特定の作物を大規模な農園などで栽培し、世界中に輸出している。 | 3. 園芸作物と呼ばれ、都市近郊のビニールハウスで、成長を早めるために高度な技術を用いて栽培している。 | 4. 工芸作物と呼ばれ、涼しい高原地帯の気候を利用して、主に国内の工場向けに原料として供給している。 |
|--|---|---|--|
- 問6 日本の農産物統計において、静岡県や鹿児島県が生産量の上位を占める「茶」が、平地ではなく牧之原などの「台地」で大規模に栽培されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 標高が高いため年間を通じて冷涼であり、病害虫の発生が極めて少ないから。 | 2. 大消費地に近い斜面地であるため、輸送コストを抑えて新鮮な野菜を出荷できるから | 3. 火山灰が堆積した平坦な土地であり、大型の機械を用いた水田開発が容易だったから。 | 4. 周囲より一段高い地形であり、水はけが良いため稲作には適さなかったから。 |
|--|---|--|--|
- 問7 中国の南東部に位置する香港の歴史的背景と、現在の状況について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. かつてイギリスの統治下にあったが、返還後は中国の広東省の一部として完全に統合されている。 | 2. かつてオランダの統治下にあり、現在は独立した主権国家として東南アジアの経済の中心となっている。 | 3. かつてイギリスの統治下であり、1997年の返還後は中国の特別行政区として高度な自治が認められている。 | 4. かつてポルトガルの統治下であり、1999年の返還後は中国の経済特区として外国企業の誘致を進めている。 |
|---|--|---|---|
- 問8 江戸時代、大名が江戸と領地を1年おきに行き来する制度が実施されました。この制度が大名の経済力や社会に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 大名が自分の領地に定住することを奨励し、地方の農業開発を促進した。 | 2. 長崎での海外貿易を独占させ、大名の経済力を高める役割を果たした。 | 3. キリスト教の布教を全国に広めるための交通網の整備を目的とした。 | 4. 大名の財政を圧迫させ、幕府に反抗する力を蓄えさせないようにした。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問9 鎌倉時代の政治体制について、歴史年表に記された「北条時宗がモンゴル帝国の襲来（元寇）を退けた」という出来事に関連し、当時の政治の仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|
| 1. 北条氏が朝廷の役職である摂政・関白を独占し、天皇に代わって政治を行った。 | 2. 北条氏が將軍の補佐役という立場で世襲的に実権を握り、政務を統括した。 | 3. 足利氏が將軍の補佐役として、有力な守護大名の中から任命されて政治を支えた。 | 4. 徳川氏が將軍の直屬の部下として複数の有力な大名を任命し、合議制で政治を行った。 |
|---|---------------------------------------|--|--|
- 問10 地球温暖化対策の一環として「エコ通勤」が注目されています。自家用車からバスや鉄道、自転車などへの転換を促すこの取り組みが、環境に与える具体的な影響について述べたものとして正しいものを選びなさい。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 都市部のヒートアイランド現象は解消するが、地球全体の平均気温には影響を与えない。 | 2. 大気中の有害な紫外線を遮る層の厚さを維持し、皮膚がんの増加を抑えることができる。 | 3. 1人あたりの二酸化炭素排出量を減らすことで、気温上昇の原因となる温室効果ガスを削減できる。 | 4. 大気中の汚染物質が減ることで、雨が強い酸性を示す現象を直接的に解消できる。 |
|---|---|--|--|
- 問11 東北地方の太平洋側で発生する「冷害」のメカニズムについて、風の向きと気圧配置の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 冬にシベリア高気圧から吹き込む、冷たく乾燥した北西の季節風 | 2. 夏にオホーツク海高気圧から吹き込む、冷たく湿った北東の風 | 3. 夏に小笠原高気圧から吹き込む、高温で湿った南東の季節風 | 4. 初夏に移動性高気圧がもたらす、乾燥した西寄りの風 |
|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 社会的責任を果たすことで、消費者や投資家からの信頼を得て、企業の価値や持続性を高めるため。	不祥事や環境破壊を起こした企業は、消費者からの不買運動や投資家からの資金引き揚げに遭い、存続が危ぶまれることがあります。そのため、社会的な信頼を築くことは、結果として企業の長期的な発展につながると考えられています。
問2	答え 4 信仰のよりどころとしての聖書	ルターは、当時のカトリック教会が腐敗していると考え、教会の儀式や教皇の権威よりも、キリスト教の原点である聖書に書かれた言葉を信じるべきだと主張しました。これが「聖書中心主義」です。ルターは多くの人々が聖書を読めるよう、ラテン語だった聖書をドイツ語に翻訳しました。この改革によって生まれた新しい宗派は、「抗議する者」という意味からプロテスタントと呼ばれます。
問3	答え 2 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している	みかんは温暖な気候を好み、特に成長期に十分な太陽光を浴びることと、根腐れを防ぐために水はけが良いことが栽培の条件となります。和歌山県や愛媛県では、海岸に近い山の斜面を階段状に切り拓いた段々畑にすることで、効率よく日光を当て、余分な水分が自然に流れ落ちるように工夫されています。
問4	答え 4 石油は埋蔵量に限りがあるため将来的な枯渇が懸念されるだけでなく、国際的な価格の変動が大きいため、安定した国家収入を得ることが難しいという課題。	石油は化石燃料の一つであり、現在の採掘ベースでは約51年で枯渇すると推測される「可採年数」の限界があります。また、1990年代後半から2010年代にかけての価格推移を見ると、1バレルあたり20ドル以下から100ドルを超えるまで激しく上下しており、資源の輸出だけに頼る経済構造では、世界情勢の変化によって国家財政が不安定になるリスクを抱えています。そのため、持続可能な発展を目指して産業の多角化が必要とされています。
問5	答え 2 商品作物と呼ばれ、熱帯の気候に適した特定の作物を大規模な農園などで栽培し、世界中に輸出している。	カカオや天然ゴムのように、輸出や販売を目的として栽培される作物は「商品作物」と呼ばれます。東南アジアでは熱帯の気候を活かし、広大な農地（プランテーション）でこれらの作物を集中的に生産する形態が発展しました。これは地域の経済を支える一方で、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を与えるという側面も持っています。
問6	答え 4 周囲より一段高い地形であり、水はけが良いため稲作には適さなかったから。	台地は周囲の低地と比べて標高が高く、水が地下に浸透しやすかったり流れやすかったりする性質（水はけが良い）があります。かつて農業の中心であった稲作には、水を常に溜めておくための灌漑設備が必要ですが、台地では水の確保が困難でした。そのため、江戸時代末期から明治時代にかけて、水不足に強く、かつ水はけの良い土地を好む茶の栽培が、未開拓だった台地を中心に奨励されました。
問7	答え 3 かつてイギリスの統治下にあり、1997年の返還後は中国の特別行政区として高度な自治が認められている。	香港は1842年の南京条約などによってイギリスの領土や租借地となりましたが、1997年に中国へ返還されました。返還後も50年間は従来の資本主義制度を維持することが約束され、特別行政区という特殊な地位を与えられています。ポルトガルから返還されたのはマカオであり、香港とは歴史的背景が異なります。
問8	答え 4 大名の財政を圧迫させ、幕府に反抗する力を蓄えさせないようにした。	参勤交代には、多数の家来を引き連れた大名行列による多額の移動経費や、江戸にある屋敷の維持費が必要でした。これにより、諸大名が経済的に困窮し、幕府に対して軍事的な反乱を起こす余裕をなくさせるという効果がありました。同時に、全国の街道や宿場町が整備され、江戸の文化が地方へ伝わるきっかけにもなりました。
問9	答え 2 北条氏が将軍の補佐役という立場で世襲的に実権を握り、政務を統括した。	鎌倉時代中期、第8代執権であった北条時宗は、モンゴル帝国の要求を拒否し、2度にわたる襲来に対して御家人を指揮しました。北条氏は形式上は将軍を立てつつも、実質的にはこの役職を通じて幕府の最高責任者としての権力を行使しました。なお、管領は室町時代、老中は江戸時代の役職です。
問10	答え 3 1人あたりの二酸化炭素排出量を減らすことで、気温上昇の原因となる温室効果ガスを削減できる。	交通部門における温室効果ガスの排出の多くは自家用車によるものです。バスや鉄道などの公共交通機関は、一度に多くの人を運べるため、輸送効率が良く、1人あたりの二酸化炭素排出量を自家用車に比べて大幅に低く抑えることができます。この削減は、地球規模の気温上昇を抑制するための重要な手段となります。他の選択肢は、酸性雨やオゾン層の破壊に関する記述であり、これらは温室効果ガスの削減が直接的な解決策となる問題ではありません。
問11	答え 2 夏にオホーツク海高気圧から吹き込む、冷たく湿った北東の風	冷害の原因となる「やませ」は、北のオホーツク海高気圧から吹き出す北東の風です。この風は冷たく湿っているため、奥羽山脈よりも東側の太平洋側に低い雲を広げ、気温の上昇を妨げます。小笠原高気圧から吹く風は本来の日本の夏の暑さをもたらすものであり、シベリア高気圧は冬の気候に関係するものです。